

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		仙台市西花苑たんぼぼホーム		公表日 令和7年3月21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	参加人数が多い時には、ホールを併用する等の工夫を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	6	当日の出席人数や児の状態像に応じた職員配置を工夫し、安全に配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ・単独通園の児に対しては適切ではないと思われる。 ・単独通園の枠で受け入れたい現状や実際のニーズがあるにも関わらず、看護師や指導員の配置数に限りがある。 ・1対1対応が必要な児が居た場合、通常の配置数では足りないと感じる。 ・3対1、1対1など、子どもの状態によって異なるが、単独クラスであっても1対1の児をその枠に限らず支援している。 ・今年度途中から職員の欠員がなくなったが、余裕がなく、突然の休みがあったときの対応に不安を感じる。 ・対象児のきょうだい(弟妹)が多く、預かるための職員が必要と思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	スケジュール表示やパーティションの活用など、わかりやすい環境設定をしている。床が冷たいため、肢体不自由児にはマットを敷き対策をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、登園する児に合わせてあそびの設定と環境を整えている。 ・看護師がホーム内全館の衛生管理をしっかり行ってくれている。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	気持ちの切り替えが必要な場面などに個別の部屋へ移動するなど必要に応じて対応するようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	1		参画する場がなかったように感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	保護者向けの評価表を用いて意向を把握し、業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	3	各職員と園長、主任が面接し、意見を述べる場を設けている。朝、降園後の打ち合わせ時、発言の機会を設け、業務改善につなげた。	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の意見を聞いていただく機会は今年度はあったが、それがどのような業務改善につながるのかの見通しは持っていない。 ・年間に面談の機会を頂き、意見を伝える場面はあるが、改善につながっていないこともあるように思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	0	市の運営指導を受け、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	年間計画で行われている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	児童発達支援管理責任者とクラス担任とでアセスメントシートを用いてアセスメントを行い、こどもと保護者のニーズを踏まえて計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種が参加している。 ・クラスの職員が参加し、みんなで会議している。 	

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	個別支援計画作成時からクラス担任が内容を共有するようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	クラス会議等の中で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	日々の反省の内容を踏まえて考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	・その日のリーダーより活動の流れ、視点、注意点、人員配置まで細かく確認している。 ・分担、児対応や動きについて確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	・全体反省、クラスの反省を当日の活動の振り返りと共に経験の浅い職員が成長できるような場になっている。 ・必ず振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・各児ごと記録している。 ・支援だけでなく、保護者についても残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0	特に、医ケア児、虐待を疑うケースなどで整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0	地域の子育て支援施設の職員を対象とした研修会や施設見学会を開催し、インクルージョンの推進に努めている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	0		今年度は対象児がいなかった。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0	在籍児が利用している児童発達支援事業所と互いに見学をし、連携を図っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0	・外部講師による事例検討を行っている。 ・法人で予定している研修以外にも外部研修を受講する機会を設けている。 ・必要に応じて主治医とも連携を図っている。	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	1	地域相談員が中心となり、地域の連絡会議等へ参加している。		
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	—	—	—	—	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	0	近隣の小規模保育園の園児を招き、一緒に活動する機会を作っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	単独児についてもなるべく保護者とやりとりをしている。単独ノートを利用している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	朝の表情や声色などから保護者の心情を察知し、個別に話をする時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	0	きょうだい児支援「HOっとキッズ」を行った。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1		タイムリーに動けるときもあれば、すぐに判断がされずタイムラグが生じることがあった。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	0	近隣の小規模保育園の園児を招き、一緒に活動する機会を作っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	机を個別に用意したり、感触あそびの素材を考慮したりしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	2		曖昧になっている。また、支援計画への記載がなされていない。